

# 令和7年度 味鋤小学校 グランドデザイン

## 名古屋市学校教育の指針

### 【学びのコンパス】を受けて

#### <目指したい子どもの姿>

「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける」

#### <重視したい学びの姿>

- 自分に合ったペースや方法で学ぶ
- 多様な人と学び合う
- 夢中で探究する

## 【味鋤小学校 校訓・学校教育目標】

### <校訓>

よく学び 心ゆたかで じょうぶな子

### <学校教育目標>

何事にも力いっぱいやり抜く味鋤っ子の育成

## 【令和7年度味鋤小学校学校教育重点目標】

人とつながる、未来へつなげる  
歩みを止めない味鋤っ子

## 【重点目標設定の思い】

- 10年後・20年後の正解のない時代といわれる社会を生き抜いていく資質や能力を身に付けてほしい。
- 学校・家庭・地域がつながって、子どもを中心に据えた対話を進めていきたい。
- 昨年度までの「つながるプロジェクト」を生かして、味鋤の地域全体で、将来地域で活躍できる子どもたちを育てていきたい。
- 主体的な態度を身に付けて、自分の生き方につなげてほしい。
- 自分の力あるいは他の人との協働を通して、正解のない問いに対する問題解決を図るための学びを深めてほしい。

## 【味鋤小学校で目指す子どもの姿】＝育てたい資質や能力を意識して ※「何ができるようになるか」

- なりたい自分の姿に向かって、自分で選択する力、決める力を身に付けることができる。（自己決定力、自立心）
- 主体的に物事に取り組み、自己調整を図りながら粘り強く学びを深めることができる。（学びに向かう力、レジリエンス）
- 正解のない問いに対して、多様な人との関わりを通して、社会とのつながりを「自分ごと」として捉えて探究することができる。（コミュニケーション力、創造力）

目指す子どもの姿に迫るために ※「何を、どのように学ぶか」

## 児童同士・児童と社会・児童の未来へつなげる

### 【学習指導】

#### <学校努力点>

「ともに学び ともに高める」（北中ブロック3校共通）  
～学ぶ楽しさに気付く児童の育成～

- 単元を貫く「本質的な問い」を追究する学習活動。
- 振り返りをもとにした自己調整的な学習活動。
- 対話を取り入れた、問題解決を図るための協働的な学び。
- 「みつけよう！不思議のタネ。そだてよう！不思議の花」を合い言葉にした、探究的、体験的な活動を取り入れた総合的な学習・生活科の学習の充実。
- 学習と指導と評価の一体化を目指した学習活動の工夫。（OPPAを取り入れた学習活動）
- 育てたい資質や能力を意識した教科横断的な視点でのカリキュラムの工夫。（カリキュラムマネジメント）
- 探究的な学習の成果を発表する場として、学習発表会を実施。
- 本を通して様々な社会とつなげるための読書活動の推進。
- 教科担任制、ローテーション授業の取り組み。
- 主体的、自己調整的な学習習慣を定着させるための取り組み。（宿題のあり方の見直し）
- タブレットの有効活用。

### 【生活指導・その他の指導】

- 誰一人として取り残さないための教育相談体制づくり。（SCや子ども応援委員会との連携）
- 誰にでも相談できる相談体制の構築。
- いじめを許さない集団づくり。お互いを大切にし、認め合える学級活動の工夫。
- 「自分ごと」として、物事に関与できる児童の育成。
- あいさつが進んでできるようにするための働き掛け。
- 「命を守る」ために自分ごととしてとらえるための防災教育。
- けがの予防、防災・防犯、交通安全に関する指導の充実。（自分、命を大切にする）
- Q Uを基にした、学級集団づくり。
- 持続可能な社会の創り手となるようなキャリア教育の推進。
- 小学校と中学校をつなぐ教育活動の工夫。
- 健康なからだづくりに関する指導の充実。（体力アップ、健康教育、食育）
- ペア活動など、異学年・学級間交流の充実。
- 交流及び共同学習等特別支援教育の推進。
- 問題行動等への迅速・組織的な対応。

## 家庭・地域と学校をつなげる

### 【開かれた学校づくりを行い子どもを育てる】

- 中学校ブロックでの共通理解や連携を図るための取り組み。
- 運営サポーターの募集。（学校行事等のお手伝い依頼）
- PTA活動との連携。
- 家庭との連携による基本的生活習慣の定着。
- 保護者との懇談を通じた課題の共有。
- 学校教育重点目標や様々な教育活動の家庭や地域への情報提供。
- 味鋤の地域の将来を担う子どもたちを育成するための、地域とともに考える教育活動。
- 地域の方との交流。（日本文化体験など）
- 学区探検や体験活動など訪問先や講師の依頼。
- 多様な人と出会い・関わりを大切にしたい教育活動。
- 登下校時の見守り。
- あいさつを通しての交流。
- 楠地区70周年に関わるイベントへの参加。

## 教職員同士をつなげる

### 【教職員体制を見直し、質の高い教育を目指す】

- 働き方改革の推進。  
教育活動の質を高めるための工夫。
- 支え合い、課題解決を図る学年集団づくり。
- 力量向上を図るための職場内研修の推進。  
※ICT、生徒指導、学級づくり、防災・防犯等。
- 教職員それぞれががリーダーシップを発揮する取り組み。
- 一歩前進するカリキュラムマネジメントと学校評価。
- 目標意識を高める教職員集団づくり。
- 義務教育9年間を見通し、子どもたちが将来社会で生き抜いていく力を育成するための、小学校と中学校の教職員の交流、協働。